

# oterart 金澤 2018 浄光寺活動報告書



真宗大谷派 龍向山 浄光寺

## 開催概要

### ・概要と目的

「oterart 金澤」とは、「お寺」と「アート」を掛け合わせた造語（＝オテラート）で、若手の作家、美術・デザインを専攻する学生が主に参加し、作品の展示を中心とした芸術祭です。絵画、映像、彫刻、書、陶磁器、乾漆、現代アートなど様々な作品が、金沢市内4地区11カ寺の本堂や境内に展示されます。第9回目 oterart 金澤 2018 では約70名の作品展示参加し、約50種類のワークショップなども開催されました。会場の一つである浄光寺では毎年「アートで知る私のまち」と題して、森山町小学校の3年生と森山小卒で沈金師の芝山佳範と一緒に作アートを制作し、アートを通して地元の歴史や文化を再発見してきました。浄光寺が竹久夢二の妻、岸たまきの生家の菩提寺であるというご縁で、今回は夢二を題材に作品を制作しました。今回は夢二の子供思いの一面にスポットを当て、子供のために残した「生きとし生けるもの」（今年のオテラートのテーマ）を中心としたイラストや童謡をもとに立体作品や映像作品を制作し、会期中浄光寺で展示しました。また金沢湯涌夢二館館長太田昌子氏を講師としてお迎えしてトークイベントも開催されました。

### ・開催日

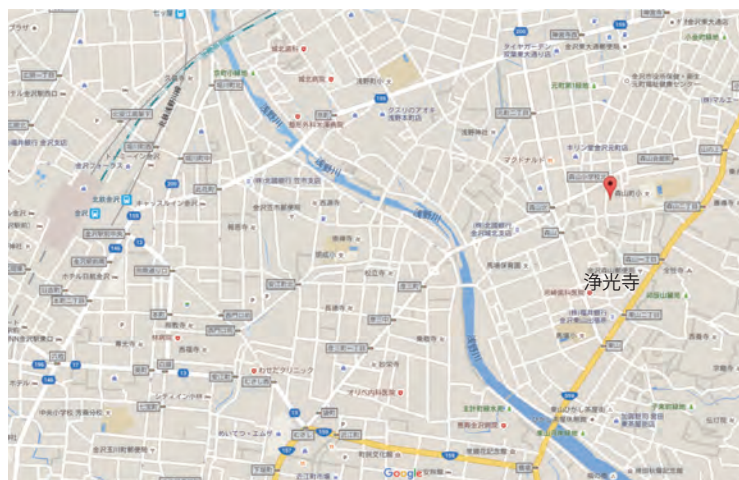
平成30年9月1日(土) → 9日(日) 午後1時→午後6時(土曜日は午後8時・最終日午後5時)

### ・会場

金沢市森山 2-19-32

真宗大谷派 龍向山 浄光寺

金沢駅より車でひがし茶屋街方向へ約10分、森山町小学校から徒歩1分に位置する。約550年の歴史ある真宗大谷派(宗祖親鸞聖人・本山東本願寺)の寺院。



### ・参加者

#### ■夢二作品制作

立体作品：制作：3年生50名、有馬佳子(図工教諭)、芝山佳範(沈金師)、藤任章(浄光寺住職)・指導：芝山佳範  
映像作品：暗唱出演：3年生50名・撮影編集：藤任章(浄光寺住職)

#### ■その他展示

芝山佳範(沈金師)、下橋晶(仏画アーティスト)、久家志穂(金沢美術工芸大学彫刻専攻)、田中美路(ニューヨーク在住陶芸家)、坪田凌哉(金沢学院大学芸術学部)、作田賢三(同上)

#### ■協力・講師等

太田昌子(金沢湯涌夢二館館長)、川瀬千尋(金沢湯涌夢二館学芸員)、有延宏之(アリーカフェ代表)、鶴泉会(茶会)、ヒゲキタさん(プラネタリウム)、JAIST 北陸先端技術大学院大学(3Dプリント)、本村典子(結婚式司会、水引)、HFC 北陸ファクトリーコネクション(結婚式写真)、加茂里依(結婚式メイク、衣装)、J.C.BAL(結婚式、ジュエリー) 太郎と花子(駄菓子・縁日)、アンテ(柚子サイダー)、BLUE MANDAY(カフェ)

### ・来場者数

約750名

## 活動記録 - 立体作品の制作 -

・7月3日(火) 午前8時30分～午後12時30分

参加人数 3年生 50名 場所 森山町小学校図工室

芝山佳範(沈金師)と藤任章(浄光寺住職)が小学校を訪問し一緒に作品作りをしました。夢二のことを学んだ後、『夢二画手本』に描かれている夢二の動植物をお手本に、芝山佳範指導のもと耐水性のある紙粘土を使用し立体作品を制作しました。題材によっては苦戦している子もいましたが、成形作業



・7月10(火) 午前8時30分～午後12時30分

参加人数 3年生 50名 場所 森山町小学校図工室

翌週は色付け作業。屋外に展示する作品もあるため、アクリルカラーを使用しました。お手本となった夢二のイラストには色がないので、子供たちの感性で思い思いの色でペイント。独創的なカラーの生きとし生けるものが出来上がりました。



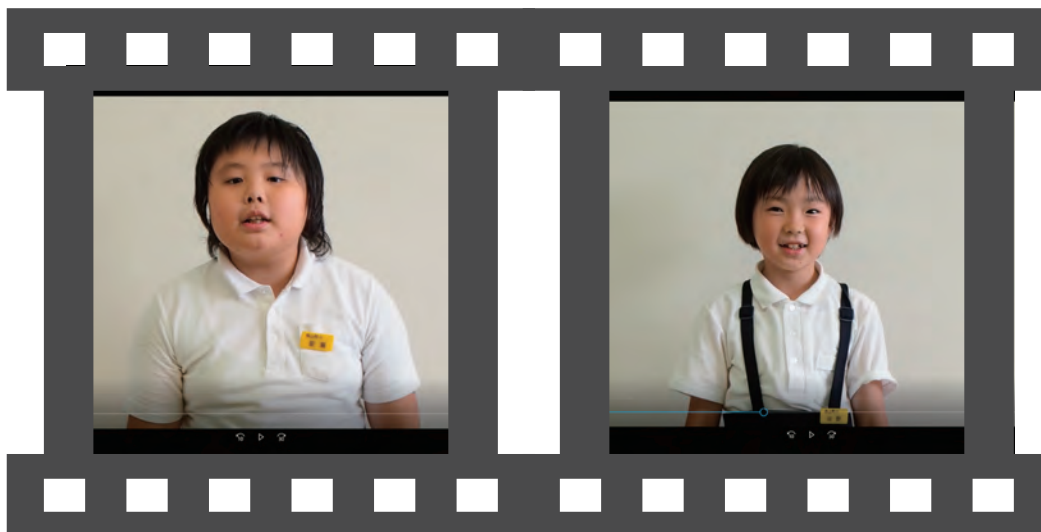
## 活動記録 - 暗唱の様子を収録 -

・7月3日(火) 午前8時30分～午後12時30分

参加人数 50名 場所 森山町小学校会議室

森山町小学校では毎月「今月の詩」と題し詩を暗記し、校長先生の前での暗唱が日課となっています。普段から色々な文学に親しんでいる子供たちに今回は、夢二童謡集『凧』を暗唱していただきました。その様子を藤（浄光寺住職）が撮影・編集して会期中に本堂でプロジェクターを使用し上映しました。

『凧』から厳選した25種類の童謡の中から、一人一人が自分で気に入った作品を暗唱しました。立体作品を作りながらの撮影となりましたが、普段聞きなれない文語体に苦戦しながらもスラスラと暗唱している姿に驚かされました。



映像作品は添付の動画ファイルでご視聴いただけます。

告知用のチラシを10000枚配布しました。またオテラートのパンフレット(8000部)にも掲載。インターネットやSNSでも告知しました。

オテラート金澤 2018 東山地区ガイド  
第9回テーマ『生きとし生けるもの』  
9/1(土)→9/9(日)  
午後1時→午後6時(土は午後8時)

入場無料

いきものずかん 作品を探そう!

作家 夢二とこども

美人画で知られる竹久夢二。実は、子供思いの一面もあり、我が子のために『生きものや植物のイラスト』と『詩』などを数多く残しました。今回は、それらの作品を題材に沈金師の芝山佳範と森山町小学校の子供たちが夢二の世界をアート作品として表現します。

『夢二の妻(岸たまき)の生家の菩提寺』  
会場 浄光寺 — 金沢市森山2-19-32

【参加作家】芝山佳範/下橋晶/田中美露/作田賢三/久家志穂/坪田凌哉

◆トーキョーイベント『竹久夢二の妻(岸たまき)と三人の子供たち』  
【日時】9月9日(日)15:00~ 【講師】(金沢湖清夢二館館長) 太田昌子

◆VR森山町小学校 — 建て替えのため取り壊しになった旧校舎が目の前に!! (※常時開催)

◆駄菓子かふえ — 駄菓子、ヨーヨー釣り、射的、くじびき、かためき...

◆3Dプリント『獅子頭』色付け体験 (※常時開催)

クイズラリー開催! 3会場を巡ってクイズに正解するとガチャガチャのチャンス!

あかもん寺『わらじのお寺』  
会場 全性寺 — 金沢市東山2-18-10  
【参加作家】(Swamp Swimmers代表) 村上正幸/山本諒介  
菊田賢子/小田陽梨乃/後藤大輝  
岡田理恵子/倉林正幸

◆ミニわらじ作り体験 (※住職在寺時のみ)  
その他、イベントやワークショップなど盛沢山!  
詳しくは裏面をご覧ください。

オテラートは、4地区11会場で開催しております。

【主催】oterart 金澤2018実行委員会 (問い合わせ) ☎076-252-4922 (浄光寺) / info@hokoji.net / www.oterart.com  
【後援】石川県/金沢市/北國新聞社/北陸中日新聞/テレビ金沢/北陸放送/金沢ケーブルテレビネットエフェム石川/ラジオななむ/ラジオななふ/ラジオこまつ【協力】金沢湖清夢二館/森山町小学校/JAIST 北陸先端技術大学院大学/HFC(北陸フロンティアコネクション)

表面



パンフレット表紙 (全19ページ)

インフォメーション

13:00 全性寺 『踊り行日マインドフルヨガ』 定員12名(予約)2,000円  
【講師】小谷真由美 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。心身への気づきを通して心身の健康を促す。

14:00 浄光寺 『オテラート×ワケアニング』 定員20名(予約)無料  
【講師】山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

14:00 浄光寺 『音を聴くヨガ』 定員8名(予約)2,000円  
【講師】山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

14:00 浄光寺 『手作りアネタリウム展覧会』 無料  
【講師】七ヶ谷 大 石川県立大学(石川)の先生からアネタリウムの作り方を学び、自分だけのアネタリウムを作ります。

13:00-16:00 浄光寺 『お茶屋さんが寝たてくれるお茶をゆっくりと楽しむ会』  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

13:00-17:00 浄光寺 『絵付け体験』 定員20名(予約)2,000円 両日参加可  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

13:00-17:00 浄光寺 『レジャーアート体験』 定員20名(予約)1,000円 (学生500円) 両日参加可  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

14:00-16:00 浄光寺 『生きとし生けるもの(重層)の茶会』 定員50名(予約)1,000円  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

13:00-18:00 浄光寺 『くしまんと新聞をつくろう』 (平日開催) 1,000円 両日参加可  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

14:00-16:00 浄光寺 『きまぐれのアート』 定員4名(予約)1,500円 (学生1,000円)  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

15:00-16:00 浄光寺 『トーキョーイベント』 定員20名(予約)無料  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

10:00-11:30 浄光寺 『観音菩薩体験』 定員8名(予約)2,000円  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

13:00-18:00 浄光寺 『3Dプリント獅子頭色付け体験』 (予約不要) 1,000円  
【講師】(主催) 山本諒介 (M 100%) マインドフルネスを修得し、心身への気づきを通して心身の健康を促す。

13:00-18:00 浄光寺 『ミニわらじづくり体験』 (※住職在寺時のみ)

裏面

## 活動記録 - 夢二作品の展示 -

・9月1日(土) → 9日(日) 午後1時～午後6時

来場者数約750名 場所 浄光寺



夢二を題材に森山町小の3年生と有馬先生、芝山、藤が制作した53種類の「生きとし生けるもの」を境内や本堂のいたるところに展示。お手本となった夢二のイラストを集めた『夢二いきもの図鑑』を制作。来場者は図鑑を片手に作品を探しながらの作品鑑賞。全部見つけてくださった方には、金沢湯涌夢二館館夢二グッズ(バッジと封筒夢)を進呈しました。また映像作品は本堂白壁に投影し常時上映しました。





『夢二いきもの図鑑』外面（上）・内面（下）



映像作品『夢二とこども』上映



会期中の9月4日(火)、作品を作ってくれた子供たちが図工の時間を利用して見学に来てくれました。みんな夢中で作を探し回ったり暗唱を鑑賞しました。その他、作家さんの作品なども鑑賞し、夢二とアートとお寺に触れる貴重な時間となりました。



## 活動記録 - トークイベント -

・9月9日(日) 午後3時～ 場所 浄光寺本堂

参加者 50名



オテラート最終日、今回の企画の締めくくりとして講師に金沢湯涌夢二館館長の太田昌子氏をお迎えしてトークイベントを「竹久夢二の妻〈岸たまき〉と三人の子供たち」を開催。夢二のこども思いの一面やたまきと浄光寺の関係など丁寧にお話しくださいました。また岸家の子孫である岸九郎さんがはるばる千葉より駆けつけてくださいました。



その他、お茶会、夢二塗り絵、パネル展示なども開催。お茶会のために芝山佳範が夢二を題材とした棗を制作。





久家志穂



坪田 凌哉



田中美路



作田賢三



芝山佳範



茨山佳範



下橋晶



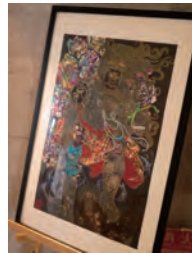
下橋晶



下橋晶



下橋晶



下橋晶



VR 森山町小学校



韋駄天 (獅子頭)



3D プリント獅子頭色付け体験



3D プリント獅子頭色付け体験



オテラートウエディング



オテラートウエディング



駄菓子屋かふえ



駄菓子屋かふえ



駄菓子屋かふえ



プラネタリウム



コーヒー講座



アメリカ人ツアー



レザークラフト



お茶会



オテラートガチャガチャ



東山地区寺院ストラップ  
(ガチャガチャ)



夢二の懐紙 (お茶会)



夢二キャプション



東山地区住職ツアー

## 事業の成果

- 今回の事業を通して夢二が子供思いだったという一面を知っていただくきっかけとなったのではないかと。
- ・浄光寺が岸家の菩提寺だったという不思議なご縁をオテラートで一つのかたちにすることができた。
- ・作品作りに参加した子供たちはもちろん、多くの来場者に夢二に親しんでいただくきっかけをつくることができたのではないかと。
- ・とにかく参加した小学生が楽しんでくれた。
- 多くの来場者があった。
- ・親子連れをはじめ、子供から年配者まで幅広い年代の方に参加いただくことができた。
- ・予想以上の方々が夢二いきもの探しに参加してくださった。
- ・アートを通して子供、作家、地域、学校が連動しことが集客につながったのではないかと。

## 課題

- 夢二について理解を深めることができたのか。
- ・来場者は作品探しに夢中で夢二への関心が少し希薄に感じた。また反対にトークイベントに参加されたかたは作品探しへの関心が薄く感じた。
- ・今回のイベントを通して私自身もっと多くの夢二の作品に触れたり、人物像を学びたいと思っていたが、イベントの準備に追われ十分な時間をとることができなかった。
- ・暗唱の準備期間が短く、小学生を指導しきれなかった。

## おわりに

森山町小学校の子供たち、作家さん方、地域の皆さん、先生方、その他大勢の皆さん、そして「金沢湯涌夢二館」の館長太田昌子氏、学芸員の川瀬千尋氏のご協力が無事に事業を実現することができました。この度のご縁を深く感謝申し上げます。